

ぼうさいだより



令和2年8月3日
飯野小学校
防災教育担当

飯野小学校では、毎月14日および16日を「命と防災の日」とし、災害から自分の命を守るためにどうすればよいのか、みんなの命を守るためにどう行動するのか、考える学習をしています。

5月 は、「コロナ感染症について」、コロナ感染症とはどんな病気なのか、どうすれば予防できるのかを学習しました。また、病気になってしまった人や医療に携わっている人達に対する差別についても考えました。



6月 は、「風水害について」学習しました。大雨や強い風が起こった時、どのような行動をとればよいのかを各クラスで話し合いました。大切なことは、「大人と一緒に行動すること」です。垂直避難も有効です。



7月 は、「地震避難訓練」を行いました。度重なる天候の悪さで、外への避難はできず、校舎内での動きを確認するだけとなりました。



それでも、子ども達は真剣に考え、行動していました。

自然災害はいつどこで起こるか分かりません。先日、熊本県でも大雨が続き、甚大な被害がありました。自分の命、家族の命、友だちの命、地域の人々の命を守るために、どうすればよいのか、ご家庭でも是非話し合っておかしてください。そして、避難場所の確認をしたり、防災バッグの用意や中身の見直しをしたりして、「命と防災の日」をきっかけに、もしもの時のために備えておいていただければと思います。

★防災バッグの用意や中身の見直しを！
(防災バッグはできれば1人1つ用意)
(例) 洋服類、タオル、非常食 飲料水、懐中電灯、薬、保険証のコピーなど その他自分が必要なもの

